

「会計で会社を強くする」を实践 中小企業のDX 支援に取り組む



TKC九州会（福岡市）は、全国の税理士・公認会計士約1万1500人が所属しているTKC全国会に所属する地域会で、1000人を超える税理士・公認会計士が所属している。租税正義の実現と中小企業の存続・発展の支援を目標としており、**山之内浩明**会長は「会計で会社を強くする」を实践し、

経営者の良き相談相手として取り組みを進めていく」と話す。

会計の第二目的は、経営者へ企業の経営成績と財政状態を報告することであり、同団体では、毎月および期末決算時に、会計資料の適法性や正確性などを確保する「巡回監査」を強化し、企業の適正申告などを支援している。

また、昨年にはTKC九州会大分支部と大分県信用組合、大分県信用保証協会と中堅・中小企業のDX支援に関する覚書を締結した。「企業のDXは喫緊の課題」と話し、インボイス制度や改正電子帳簿保存法などの対応が求められる中、企業のDXも後押ししていく。